

2月・3月のたより

福島恭子・大森志穂
ホームページ

<http://www.dongurikorokoro.jp/>

梅の花が、ちらほら咲き出してから、早く暖かにならないかなあと思っているうちに、^{どんぐり}沈み花が香り。木蓮、辛夷も満開の、3月の中ばを過ぎました。日向には テントウムシやクモも活発に動き出して子どもたちは興味津津です。

草花や月にはな生き物は、春を迎えて、ムクムク、グシグシと成長を見せ始めました。どんぐりころころの2歳、3歳の子ともたちも、日々変化を見せています。一見前向きな変化もあれば、そうとも言えないこともあるのですが、それも実は前進していくための姿だったのだと、後から理解できることがあります。2、3歳児の保育・教育に携わっていると、子どもが、もって生まれた成長するための力を自ら当たり前にし、本当にびっくりします。そして、このもって生まれた力を生かしてあげられるよう、環境を整え、その時々に必要な手助けをすることが、大人の使命だと思っています。例えば、自然豊かで静かな、時間がゆったりと流れる西東京市下保谷地域は、子どもを育てるのに、とてもよい環境だと思います。このような状況を維持していくことは、子どもの健やかな成長を助ける大きな力になっていきます。

どんぐりころころの保育・教育は、他の保育園や幼稚園とはちょっと(いや、かなり?)違っていませんか。2、3歳児の発達の特徴を活かした教育であると自信をもって言うことができます。どんぐりころころにお子さんと通わせてくださる保護者の方のご理解、いつもあなたに子どもたちを受け入れてくださる地域の方々のお陰で、24年度のどんぐりころころは、23年度より一歩前進したものとภูมิใจです。

4月からは、2歳児クラス6名、3歳児クラス4名でスタートします。さらに進化したどんぐりころころにしたいと思っておりますので、25年度もご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

2歳
まねっこ好き♡
大好き♡

● 畳に寝転んでいるAくんをくすぐっていると、「Eも」と、他の遊びをしていたBくんが突然、寝転がってくすぐられる準備を始めます。それに、応えてくすぐっていると、今度はCちゃんか、保育者の目の前に寝転がります。

● 別の日には、保育者と3歳のDくんが「バンバン!!」と単独をしていると一人二人と寄ってきて、同じように「バンバン!!」と応戦。そこにEくんが「Eも」とにこにこ笑いはからやってきて、保育者が「バンバン!!」と攻撃すると、大喜びで小踊りしています。Eくんは単独の意味は全く分かっていない様子で、やられているにもかかわらず友達と同じようにやってもらって喜んでいるのです。

あんなに、こんなことも次々と、互いのまねっこをする2歳の子ともたち。周りの様子、友達のことが見えてきたのです。

なにかしてるぞ...



ほちもやちやおう!!

～3歳の子ともたち～

「飛行機」です」



「もしもし...」(なせか絵本が電話になつています)

夏みかんを取らせてもらいました。



「点検!!」お発進!!

